

# 20年目の葉山

村山市立葉山中学校  
学校だより  
第8号  
令和5年7月26日

## 私から、夏休み中の二つの宿題

校長 富塚 義幸

7月15・16・17日の三連休、県大会をはさんだ21・22・23・24日の四連休で夏休みモードに入っている人もいたかもしれません。7月27日(木)が1学期最後の登校日となります。終業式での、私から生徒の皆さん137名へのメッセージです。

1学期、皆さんは75日間登校しました。晴れの日ばかりではありませんでした。雨の日や強い風の日もありました。天気ばかりでなく、気持ちが曇りの日もあったのではないのでしょうか。でも、天気や気持ちに左右されることなく、登校できたことが素晴らしい!大きな声で「おはようございます」のあいさつができたことが素晴らしい!私は、皆さんからいつも元気をもらって過ごすことができました。

大きな事故やケガがなかったことは幸いです。活動中の安全を常に心掛けました。仲間や先生・お家の方・地域の方の声掛けや心遣いがあったことも忘れないでください。注意されることは、「うざいこと」「うるさいこと」ではありません。命にかかわることや行いが悪くなることに、歯止めをかけるための“思いやりのメッセージ”と考えましょう。

私から、夏休み中の宿題を二つ出します。夏休み中は、一人で考えて行動する時間が増えます。“思いやりのメッセージ”が不足するので、安全第一に自分で判断して行動します。

### (1)「自分の命は自分で守る」＝笑顔で過ごす

危ないと感じたこと・ものには近寄らない、関わらない、触らないようにします。一人で考えて行動する時間が増えることは、マイナスばかりではありません。学校が休みになる分、自分で決めた活動に挑戦することができます。

### (2)「自分で決めた活動をやり通す」＝チャレンジする

お手伝いや自由研究、絵や作品づくり、スポーツなど誰かに言われてからするのではなく自分で決めてやってみましょう。自分で決めた活動は気持ちが良く、やり遂げた時の満足感は何とも言えません。

2学期始業式で、“笑顔”と“チャレンジ”の達成度を聞きます。お互いに(生徒の皆さんも先生方も)、人として一回り成長して再会しましょう。

夏休みのオススメ本 “考えを深めるこの一冊”

読んでいる最中は難しいと感じます。でも、読み進めます。読み終わると満足感が味わえます。

### 『続・中学生からの大学講義1 学ぶということ』 ちくまプリマー新書

(189ページより抜粋) …皆さんに勉強の必勝法を授けましょう。さっき、すべてを疑う前に自分を疑えと言いました。実は自分が一番当てにならないのです。ですから必ず自分は間違いを犯すという前提で勉強することが必要です。必ず自分は間違いを犯すという前提でいけば、勉強で一番大切なのは、すでに犯した間違いであるということになります。自分が間違えたところを、二度と間違えないようにすれば、点は確実に稼げます。これが勉強必勝法です。(中略) …だから、自分の間違いこそ、一番の宝になります。間違えた答案用紙。これほど重要なものはありません。二度と同じ間違いを犯さないようにする。それだけで、だいぶ点数が上がるはずです。さあ、試験も近いようです。この「自分から疑え」の原則に則って、いい点を取るようにこころがけてください。



# 7月のアルバム ～ “授業の場”はいろいろ ～

7月は、五感 [=見る・聞く・かぐ・味わう・触れる] をフル活用して、教室を離れた授業も楽しみました。この経験は、保護者・地域・関係機関の方の協力により支えられています。



半沢ボーリング



はやま認定こども園



山バーグ



工藤自動車



村山消防署



hair space VOICE creco



はやまホーム



京浜パネル

↑ 『2年職場体験学習：「働く」とは…』    ↓ 『1年ジュンサイ摘み取り体験：おいしい食感!』



↓ 『県中総体・最北地区コンクール壮行式：全力です!』    『講演会：自分事として考えます。』 ↓



メディア講演会



性教育講演会